

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2015年度 学校だより 第4号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2015年度)

子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。
ヨハネの手紙 一 3章18節

礼拝に招かれて

校長 橋 明子

先日、アレセア湘南中学高等学校の礼拝に招かれて、お話をさせてもらいました。中高生を前に今までにない緊張感の中、礼拝が始まりました。園児の礼拝、児童の礼拝、中高生の礼拝を経験してみると、年齢によって礼拝に向かう姿勢の違いも感じました。どのような形であれ、平和学園に集うひとり一人が心から神さまと向き合う経験をしてほしいと思いました。

平和学園の卒業生である私は、久しぶりにアレセアの講壇に立ちました。中高生の中にすっぽりと包まれると、40年前の自分の姿が甦ってきます。礼拝では、平和学園でどのようなことを学んだかというお話をさせていただきました。

平和学園で学んだこと。それは「人を愛する」ということ。神さまに出会って、先生方と出会って、

「みんなちがってみんないい」
「あなたはあなたのままで」

と励まされました。今振り返ってみるとその日々がどれほど大切な時間であったのかがわかります。学生時代は、勉強をすること、部活動などを一生懸命に行うことは、当たり前のことでしょう。しかし、平和学園の場合は、勉強の中に、部活動の中に、学校生活の中にあふれる愛があったと今思うのです。

また、創立者である賀川先生は、弱い者、小さい者に心を止め、誰もが平和で幸せになるようにと願い、大きな働きをした人だと何度も聞きました。私は賀川先生にはお会いしたことはありません。しかし、賀川

先生の足跡の話を聞いた時、私にもできることがある、と勇気づけられたことを覚えています。賀川先生は、イエスさまのように私たちのためにたくさんのことを残してくださいました。平和学園で学んだことを振り返りながら、アレセア湘南中学高等学校に誇りをもって、生きてほしいことを伝えて礼拝は終わりました。

中高生と少しだけ交わった礼拝の時間は、とても良い経験になりました。この機会を与えてくださった中高の先生方に感謝です。また改めて思うこと、それは平和学園の使命を、私たちは受け継ぎ、次世代へとつなげていくこと。私たちの平和学園がこの茅ヶ崎の地に建てられた意味、そして創立者の二人の先生の思いは、これからを生きる子どもたちへ大きな宝物として繋いでいきましょう。

今、私たちにできることは何でしょうか。

一人ひとりが胸に手を当て考えて、学校生活を送れるといいですね。

